

海洋漁業科学館 中期経営目標 取組状況（平成29年度）

中期経営目標（実施期間 H27～H29）

- ① 入館者を3年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、3年間で95%以上に高めます。
- ③ 利用者1人当たりの一般財源投入額を3年間で5%削減します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 (H25)	実績値 (H29)	目標値 (H29)
① 入館者数	6,206人	6,523人	6,520人
② 利用者アンケートによる満足度	92%	95%	95%以上
③ 利用者1人当たりの一般財源投入額	509円	486円	484円

2 平成29年度における主な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス（満足度）向上に向けた取り組み

① 他の機関との連携

のと里山空港（クリスマスイベント）、能登小木港イカす会（能登町小木地区）に参加し、海藻しおり工作等の出張教室を行い当館のPRを行いました。

また、新たに、金沢大学や（一社）能登里海教育研究所と連携し当館において魚類の生態等に関する公開セミナーを開催しました。

② 企画展の充実

これまでの、「コイをすくってみよう」「ヒラメを放流してみよう」「アユを捕まえてみよう」の企画展に加え、新たに、能登の海藻（テングサ）を使っての「トコロテンを作ってみよう」を開催しました。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

節電・節水等の経費削減により、効率的な施設運営に努めた結果、前年度同様基準年に対し約13%の施設管理費が減少しました。（H25年度比△472千円）

3 平成30年度における取組内容の見直し等

地元能登町の地域イベント（「宇出津港のと寒ぶりまつり」、「宇出津あばれ祭り」）と連携した関連行事の開催や、新たに本県漁業の旬な話題（底びき網漁やズワイガニ漁の解禁、寒ブリ漁シーズン到来等）についてのパネルを展示し、漁業への理解の増進を図ります。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

指標	H25	H26	H27	H28	H29	備考（増減理由等）
利用者数	6,206人	5,932人	6,178人	6,259人	6,523人	企画展の開催数の増加

(2) 使用許可等の状況

指標	H25	H26	H27	H28	H29	備考（増減理由等）
—	—	—	—	—	—	

(3) 使用料の収入実績

指標	H25	H26	H27	H28	H29	備考（増減理由等）
入館料	469千円	456千円	無料	無料	無料	

2 収支の状況

（単位：千円）

		H25	H26	H27	H28	H29
歳出	職員費	4,698	4,738	3,657	3,627	4,136
	施設管理費	3,587	3,546	3,017	3,039	3,115
	工作教室開催費	42	13	39	30	58
	計	8,327	8,297	6,713	6,696	7,309
歳入	入館料	469	456	0	0	0
	国庫補助金	0	0	0	0	0
	一般財源	7,858	7,841	6,713	6,696	7,309
	計	8,327	8,297	6,713	6,696	7,309

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

	H25	H26	H27	H28	H29
一般財源投入額（千円）①	7,858	7,841	6,713	6,696	7,309
職員費を除いた額 （千円）①'	3,160	3,103	3,056	3,069	3,173
利用者数（人）②	6,206	5,932	6,178	6,259	6,523
利用者1人あたりの一般財源 投入額（円）①÷②	1,266	1,322	1,028	1,070	1,120
職員費を除いた額（円） ①' ÷ ②	509	523	495	490	486